

平成 31 年度入学者選抜学力検査問題「英語」解答例・採点基準

問題		解答例または採点基準
第 1 問	問 1	人は美に対して、主観的な観点から異なった見方をしているという考え方は、古い時代からほぼすべての文化（圏）において広まっていた。
	問 2	c
	問 3	肉体的な美、あるいは（換言すれば）外見による美が主観的なものであることに、ほとんど疑いはない。
	問 4	a
	問 5	（美は対称性と規則性に基づくものであり、）真の美の中核には数学が存在しているという考え。
	問 6	d
	問 7	b
	問 8	何ごとにも終わりはなく、何ごとにも完璧ではなく、何ごとにも永遠には続かないということ。
	問 9	a: ○ b: × c: × d: × e: ○
第 2 問	問 1	父が何とか他の車を借りてきたころにはジョン叔父さんは死んでしまっていた。（趣旨が合っていれば可。）
	問 2	e
	問 3	ニワトリとヤギの番をすること。（「...を守ること」等も可）
	問 4	fat（big は部分評価）
	問 5	犬と仲が良いと人に思われなくなかったから。（「犬がなついていると...」等も可）
	問 6	叔父さんは、今や私の影に付きっきりになっていた「物」を指差した。（「彼は、...」, 「ソクラテスは、...」, 「Khamba を...」等も可。）
	問 7	d
	問 8	a: ○ b: × c: × d: × e: × f: ○
第 3 問	問題 A	（採点基準） 以下の点を勘案して評価、採点する。 1. 語数制限に即していること。
	問題 B	2. 与えられた文章の趣旨を正しく理解した上で書いていること。 3. 英語の語彙及び文法、文体、句読法などを正しく運用していること。 4. 文章の展開・構成が整然とまとめられていること。 5. 解答者独自の視点や考え方などがわかりやすく論理的に示されていること。
第 4 問	問題 A	（採点基準） 以下の点を勘案して評価、採点する。
	問題 B	1. 与えられた文脈や場面を正しく理解し、意味のある談話となる英文を書いていること。 2. 場面や対話者との関係等に鑑みて適切な文体や使用域を用いていること。 3. 英語の語彙及び文法、句読法などを正しく運用していること。